



2025年10月23日
第054号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

横地申
第3号

「横浜線ワンマン運転について」に関する解明申し入れ (その2・営業)【全12項目】団体交渉を行う! ②

3. 横浜線ワンマン運転開始後の横浜線全線および根岸線内における発車ベルの使用方法について明らかにすること。また、南武線ワンマン運転においても課題になっている車両搭載の発車ベルの音量について、横地申第15号団体交渉では「様々な意見があり、非常に悩ましい。引き続き何ができるか検討している」と回答があったが、進展ならびに対策があれば示すこと。

【会社回答】横浜線ワンマン運転については、乗務員室のTIMS画面で「乗降案内」をタッチすることで、車両から発車メロディを鳴動させることとなる。それ以外は、これまでどおり駅に設置している発車ベルを扱うこととなる。また、南武線は発車メロディの音量を上げる車両改修を行ったが、引き続き対策の効果を見極めていく考えである。

組 合	会 社
申15号交渉以降、進展および対策はあるのか。	南武線では発車メロディが「聞こえづらい」という声があり、音量を上げる改修を行ってきた。横浜線も調整していく。
横浜線内については、全駅において車両搭載の発車ベルを使用する考えなのか示すこと。	その通りである。
根岸線内についてはどのように考えているのか示すこと。特に横浜駅と関内駅北行における発車ベルの使用方法はどのように考えているのか示すこと。	横浜線の車両は車両搭載の発車ベルを使用していく。
騒音で発車ベルが聞こえにくい箇所に対する対策は考えているのか示すこと。	いったん南武線で音量を上げたが、冷房の動作音の季節差もあり、どこに合わせるか難しい認識はある。
横浜駅北改札から乗車しようとした場合、車両が前方にあるため発車ベルが聞こえないことが安易に想像できるが、このことに対する対策は考えているのか示すこと。	駅や乗務員の案内により、必要な対応は行っていく考えである。
LED発車票の切り替わるタイミングについて示すこと。	時素や軌道回路と連動して表示を切り替えるところもあるが、全ての駅が同じように連動を構成している訳ではない。

5. 横浜線ワンマン運転の列車に対して乗降終了表示を掲出後、駆け込みによる荷挟まり等で駅社員から運転士に対して、再開扉を依頼する際の連絡方法および対応方法について示すこと。

【会社回答】状況に応じて関係社員が連携し、必要な対応を行っていく考えである。

荷挟まりが発生した場合、どのような対応を行うのか。	まずは列車を止め、関係各所に連絡を行う。
運転士に再開扉を依頼する際の連絡方法について、どのように考えているのか示すこと。	運転士と駅員との間で調整を図ってもらう。バディコムについても使用を調整していく。
状況により解錠ハンドルを駅社員が扱う場合はあるのか。	通達が出されており、それに則ってやっていただく。
駅社員が解錠ハンドルを扱う際の対応方法についてどのように考えているのか示すこと。	運転士と打ち合わせるものだが、コミュニケーションを図る必要がある。指令を介すなど、伝える方法はある。
横浜線ワンマン運転の列車に対する運転再開指示はどのような方法を考えているのか示すこと。	委託駅などと同様に、指令を介して指示を行う。

6. 横浜線ワンマン運転開始後の大船駅を含む入区および磯子駅折り返し時(電留線引き上げ)の車内貫通方法について、横地申第15号団体交渉では「各関係駅とコミュニケーションを図りながら検討している。なお、ドア閉扉については運転士が行う方向で検討している。」と回答があったが、進展があれば示すこと。

【会社回答】車内貫通作業については、引き続き、関係箇所と調整していく考えである。

申15号交渉以降、何か進展はあるのか示すこと。	車両のドア閉扉は運転士が行うこととする。
入区における車内貫通について、現時点でどのように考えているのか示すこと。	検討中であるが、進出方向や留置など、条件によってパターンが複数ある。
磯子駅折り返し時、引き上げ線に入る前の車内貫通についてはどのように考えているのか示すこと。	現行は車掌が行っているが、実施方法についてはまだ検討中である。
大船駅入区においては現行と変わらないのか示すこと。	まだ検討中である。

次号③へ続く